

【時間割コード】	※空欄
【科目名】	開発協力論研究 I / 国際協力論
【英文科目名】	Introduction to International Cooperation
【担当教員（代表者）名】	小林誉明
【開講学期】	春学期
【曜日・時限】	木曜日・2時限 / 木曜日・1時限

【授業の目的（必須）】 授業で何を知ってもらいたいのか。そのねらい、目的を示してください。

エボラ出血熱の拡大や“イスラム国”の台頭といった事象に象徴されるように、ある特定の地域や国において発生した問題が今や世界全体の課題として認識され、こうした課題に対処するべく国境を超えて多様な取り組みがなされている。いわゆる「国際協力」という事象である。

本講義は、こうした「国際協力」という事象の大まかな実態を把握することを目的とした講義となる。国際協力は現代国際社会において展開されている大きな潮流の一つであり、その基本的な仕組みを理解することは、現代世界の成り立ちを理解することに繋がる。本講義の最終的なねらいは、国際協力という事象を学ぶことを通じて、国際社会で今おこっていることは何なのか、それらをどのように理解したら良いのか、という参照軸を養成することにある。それは、グローバルな時代を生きる上での必須のリテラシーといえるであろう。

そのための材料として、最新の最新刊と本質がつまっている古典の双方をバランス良く組み合わせて講読文献を選び、毎週講読していくこととする。構成としては、1) まず国際協力とそのパーツを見るための「視点」を獲得するための講義、2) 国際協力の業界において繰り広げられている「論争」をおさえておくための講義、3) 国際協力の分野で目下話題となっている「トピック」を概観するための講義、という三部構成を予定している。

【授業概要（必須）】 授業計画を第1回～第15回（4単位科目は第30回、1単位科目は第1回）まで、1回ごとに具体的に記述してください。

なお、定期試験を実施する場合には第16回目もしくは、第31回目に「定期試験」と記載してください。

1. オリエンテーション

<視点ベース>

2. 社会をみる視点
3. 途上国を見る視点
4. 援助国を見る視点
5. 国際協力という事象を見る視点
6. 南北協力を見る視点
7. 南南協力を見る視点

<論争ベース>

8. 援助量が足りないのか？（ジェフリー・サックスの議論）
9. インセンティブの問題か？（ウィリアム・イースタリーの議論）

- 1 0. 紛争の問題か？（ポール・コリアーの議論）
- 1 1. 民間投資の問題か？（ダンビサ・モヨの議論）

<トピックベース>

- 1 2. ガバナンスをめぐる国際協力
- 1 3. 環境をめぐる国際協力
- 1 4. 災害をめぐる国際協力
- 1 5. 難民をめぐる国際協力

【履修目標・到達目標（必須）】 授業を通じて学生に何を習得させるか、期待される学習の成果等について、必ず記述してください。
履修により得られるキースキルについても、できるだけ記載してください。※学生を主語として記述してください。（例：「～ができる。」、「～ができるようになる。」）

本講義を通じて、以下の点の習得が期待される。

- ① 国際協力という事象の輪郭を把握できるようになる
- ② 国際協力について今後自ら学習していくための基礎力を身につけることができる
- ③ 国際協力の業界で議論されているテーマを一通り捕捉できる
- ④ 国際協力と学問との接合の仕方を理解することができる（どのようなディシプリンを学べばどのような研究や実践ができるか）

【授業方法】 資料の配布や音声もしくは画像教材の活用など、授業の進め方について説明してください。
また、授業中の質疑・討論や小テスト、課題提出、レポート作成その他、授業方法に関する情報を記述してください。

担当者がレジュメを作成し、輪読形式で議論を進めていく。ディスカッション中心の授業となる。

【成績評価の基準（必須）】 「成績評価基準の標準化」との関係で、評価法とその配分を明記し、評価の観点も記述してください。

担当文献の報告（50点）、学期末のレポート（50点）

【教科書】 授業や授業時間外学習で使用する図書情報(購入を必須とするもの)を全項目入力してください。
ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。
教科書を指定しない場合には、教科書1の書名欄に「-」と入力してください。

教科書 1	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

教科書 3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
<p><教科書補足> 教科書の使用方法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。 特にない場合には「-」と入力してください。</p>						
特になし。						

【参考書】 授業や授業時間外学習の参考になる図書情報(購入が必須ではないもの)を全項目入力してください。
ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。
参考書を指定しない場合には、参考書 1 の書名欄に「-」と入力してください。

参考書 1	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 6	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 7	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 8	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 9	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 10	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

<参考書補足> 参考書の使用方法、参考書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

必要に応じて、毎回の講義にて指定する。

【履修条件および関連科目】 当該授業を履修するにあたって、あらかじめ履修すべき授業科目など

の条件がある場合に明記してください。

また、並行して履修することによって教育効果を高める授業科目などの情報がありましたら記載してください。

特になし。

【キーワード】 5語以内で重要語句(かっこ書きで英語併記)を入力してください。語句は半角カンマ「,」（全角は不可）で区切ってください。
語句抽出が困難な科目は「-」を入力してください。
キーワードは「シラバス検索」で利用されます。

途上国、国際社会、開発援助

【備考1】 学習動機を高める学生へのメッセージやその他の注意事項等を入力してください。

導入的な講義となるので、この分野の初学者であっても参加を歓迎します。

【備考2 [学外非公開]】 当該科目の説明のうちで、学外へ非公開とすることが望ましい事項についてはこの欄をご活用ください。

【参照ホームページ】 学生の学習に効果的な情報が掲載されているホームページがあれば入力してください。
アドレスを入力すると、公開画面に、自動的にリンクが張られます。
複数のアドレスを入力する場合は、スペース（空白）をあけて入力してください。